

## 『こどものほん KID'S BOOK LIST』掲載絵本リスト

	書名	著作名	出版社	紹介文
1	あやちゃんのうまれたひ	浜田 桂子  さく・え	福音館書店	あやちゃんはもうすぐ6さいの誕生日をむかえます。あやちゃんが生まれてくるのを家族みんなが待ち望んでいたことを、お母さんが愛情たっぷりに話してくれます。
2	いしゃがよい	さくら せかい  さく	福音館書店	山でパンダの子を見つけたエンさんは、ファンファンと名付け一緒に暮らし始めます。体の弱いファンファンを自転車にのせて医者がよい。一人と一匹の温かい交流がテンポのよい文章で書かれています。
3	うごきません。	大塚 健太  作 柴田 ケイコ  絵	パイインターナショナル	とりのハシビロコウは、立ったままじーっとしています。どうぶつたちが「うごくかな？」とつぎつぎに現れますが、ハシビロコウはずっとそのままうごきません。本当にずっとうごかないのかな？ぜひ確かめてみてね。思わず笑顔になる絵本です。
4	おいも！	石津 ちひろ  文 村上 康成  絵	小峰書店	おじいちゃんのはたけで、秋の楽しみおいもほり！おいも～おいも～さつまいもー。とびっきりのおいもがとれたら、やきいもにして食べよう！はふはふ あちちち。めくるのが楽しくなる一冊です。
5	おいしいのぼうけん	古田 足日  作 田畑 精一  作	童心社	さくらほいくえんには、かわいいものが二つあります。ひとつはおいしいれで、もうひとつはねずみばあさんです。そのおいしいれに入れられた さとしとあきら。くらやみからねずみばあさんがあらわれて…。二人たすけあえば、ねずみばあさんなんてこわくない！
6	おふろでじゃぶじゃぶ	ゲイシャイトー、フィリス  ぶん ウオーカー、デイヴィッド  え 福本 友美子  やく	岩崎書店	おそとでどろだらけ、おえかきでえのぐだらけ。いっぱい遊んだら、おふろでじゃぶじゃぶ、ぷくぷく、ぱしゃーん！おふろで楽しい音が聞こえてきます。おふろが苦手でも、これを読めばおふろが大好きになるかも？
7	かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック  さく じんぐう てるお  やく	富山房	いたずらしておおあばれするマックスは、お母さんにしかられて夕ごはん抜きで寝室にほうりこまれました。すると、寝室に木が生えてきて、マックスは不思議な世界へ旅立ちます。
8	かいちゅうでんとう	みやこし あきこ  さく	福音館書店	まっくらなおへやのなかで、スイッチ カチ。懐中電灯をもって夜中の探検がはじまります。懐中電灯が灯すひかりをもとに、ひかりとかけのふしぎを楽しく知ることができます。

9	かさぶたくん	やぎゆう げんいちろう  作	福音館書店	けがをした時にできる“かさぶた”知っているかな?“かさぶた”があると、ついつい気になってはがしたくなるよね。はがしたらどうなる?体や傷を治すしくみについて、やさしく伝えてくれる絵本です。
10	カレーライス	小西 英子  さく	福音館書店	おいしいカレーライスを作りましょう!やさいやおにくをきって、いためて、おなべでこみます。カレーのルーも入れて、まだまだにこみます。ふたをあけたら、できあがり!とってもおいしそうなおカレーライス、今すぐ食べたくなっちゃうかも。
11	ぐりとぐら	中川 李枝子  さく 大村 百合子  え	福音館書店	おりょうりと食べるのが大好きなぐりとぐら。森で大きな卵を見つけました。運ぶのが大変だったのでそこで大きなカステラ作りがはじまります。「ぐりとぐら」シリーズはこの本からはじまりました。
12	くれよんのくろくん	なかや みわ  さく・え	童心社	ある日、箱から飛びだしたクレヨンたちは、真っ白な画用紙に蝶や花の絵を描いて遊んでいました。でも、くろくんだけは仲間に入れてもらえません。そこへシャープペンのお兄さんがきて、くろくんにいいことを教えます。
13	けっこんしき	鈴木 のりたけ  作	ブロンズ新社	今日はめでたい結婚式。ページを開いておでこに本を当ててみると、花嫁さんに変身。ページをめくるたびにいろいろな人が登場するので、親子で楽しめる絵本です。
14	このかべどうする?	二歩  作・絵	くもん出版	目の前に立ちはだかる高い壁。この壁を超える方法を探さなきゃ。どうすればいいのか、いろいろな方法を考えてみよう!主人公の男の子の発想を楽しみながら、課題解決力を育てる絵本です。
15	こびとのくつや	寺村 輝夫  文 岡村 好文  絵	小学館	むかしむかし、働きものだけど、貧乏なくつやさんがおりました。とうとう、一足分の皮しかなかったその夜、仕事場で不思議なことが起こります…。くつやと小人の、ひっそりとあたたかいやり取りを、やさしく描いたグリム童話。
16	こんとあき	林 明子  さく	福音館書店	あきは、生まれた時からいっしょのぬいぐるみのこんと、遠くのおばあちゃんちまで旅をします。はらはらドキドキしながらもあきとこんのきずなで心温まる一冊です。
17	しごとのどうぐ	三浦太郎  作	偕成社	いろんなどうぐがならんでいるね。このかなづちやはさみや包丁はどんなしごとでつかうのかな?大工さんや仕立て屋さん、料理人など、いろんな職業の道具と仕事を紹介する絵本です。

18	したきりすずめ	石井 桃子  再話 赤羽 末吉  画	福音館書店	ばあさの作ったのりを食べてしまったすずめは、怒ったばあさに舌を切られてしまいました。山へ飛んでいったすずめに、じいさは謝ろうと山へすずめを探しにいくことに…。有名な日本昔話を情感豊かな言葉で表現した絵本です。
19	14ひきのひっこし	いわむら かずお  さく	童心社	ねずみの家族が新しい家を探し旅をしてようやく見つけた木の根っこで家族みんな協力してお家づくり。個性豊かなねずみ一家と、細かく丁寧に描かれた自然にねずみ一家の一員になれたような気持ちで読めます。
20	11ぴきのねこ ふくろのなか	馬場 のぼる  著	こぐま社	11ぴきのねこたちが元気に遠足にでかけると、行く先々に注意書きの立て札が立っています。それを無視して楽しそうなねこたちですが、とうとう怪物ウヒアハに捕まってしまう。困ったねこたちは…。
21	10ぴきのおばけ サーカスへいく	にしかわ おさむ  作・絵	ひかりのくに	10ぴきのおばけとおじいさんが住む街にサーカスがやってきました。チラシを見たおばけたちは、サーカスに行きたい気持ちを募らせます。するとその晩、サーカスで暮らす子どものゾウがやってきて…。
22	すてきな三にんぐみ	トミー=アンゲラー  作 いまえ よしとも  訳	偕成社	黒いぼうしに黒マントの三にんのどろぼうたち。いつものようにばしゃをおどろかせて宝ものをうばおうとしましたが…。ほうせきより、きんかより、ステキな宝ものをつけた三にんぐみの絵本です。
23	だいこんどのむかし	渡辺 節子  ぶん 二俣 英五郎  え	ほるぷ出版	村に生えた一本の大きなだいこん。村人が抜こうとしても抜かず、「おろし」という言葉を聞いたとたん、だいこんがめくめくめくと泣き始めた。だいこんは抜かれずに村に生え、村を守りますが…。
24	たべものやさん しりとりしたいかい かいさいます	シゲタ サヤカ  作	白泉社	まちのたべものやさんからいろいろなたべものたちが参加し、ユニークなしりとりで勝負する大会が開かれました。どんとたべものたちはしりとりをつなげていきますが・・・言葉遊びの楽しさとユーモアたっぷりの大会の模様を楽しめますよ。
25	だるまちゃん とてんぐちゃん	加古 里子  さく・え	福音館書店	「だるまちゃん」シリーズの1冊。てんぐちゃんのもっているものがほしくなり、家でいろいろみつけて、すっかりてんぐちゃんのようになっただるまちゃん。長いはなにスズメがとまって…。
26	てぶくろ	エウゲーニー・M・ラチョフ  絵 うちだ りさこ  訳	福音館書店	おじいさんがもりでおとしたてぶくろ。ねずみがやってきて、てぶくろの中にすむことに。すると、かえるやうさぎたちも次々やってきては、てぶくろの中へ。もうてぶくろは、はちきれんばかりになり…。

27	とら猫とおしょうさん	おざわ としお  再話 かないだ えつこ  絵	くもん出版	びんぼう寺のおしょうさんの飼っている猫が、夜中におしょうさんの衣を着て外にでかけていきます。おしょうさんがあとを追うと…。ひたちなか市に伝わる「華蔵院の猫」に似ている昔話です。
28	にじ	荒木 健太郎  文・写真・絵	金の星社	雨上がりの空に大きくかかる、七色のにじ。なんで七色に光るんだらう？どうして雨の上がった後に見えるのかな？色々なにじの写真とともに、そのしくみを紹介、にじの謎に迫ります。
29	ねえ、どれがいい？	ジョン・バーニングム  さく まつかわ まゆみ  やく	評論社	「どれがいい？」と問われても、現実なら「どれもいやだ」と答えたくりますが、本の中なら楽しめる場面がいっぱい。こどものことばや経験がふえていくにつれて反応もさまざまです。
30	ねこはるすばん	町田 尚子  作	ほるぷ出版	うちの人はみんなお出かけしたので、ねこはるすばん。と思ったら、こっそりタンスの奥から抜け出して、こっそりねこの街にお出かけします。カフェやヘアサロンに行ったり、映画を見たり、ねこの街を楽しもう！
31	ねずみさんのパンツ	tupera tupera   作	ブロンズ新社	ねずみさんのパンツがなくなっちゃった！？どんぐりマークのチェックのパンツや、ビリビリやぶれたパンツなど、穴のあいたページからいろいろなパンツが登場しますが…。ねずみさんのパンツは一体どこにあるのかな？
32	はじめてのおつかい	筒井 頼子  作 林 明子  絵	福音館書店	みいちゃんがママに頼まれて牛乳を買いに一人でおつかいに行きます。子どもの視点から描かれた日常はちょっぴりどきどき。細かく描かれた背景にも物語がかくれていますので、じっくり楽しんで読めます。
33	パパのしごとはわるものです	板橋 雅弘  作 吉田 尚令  絵	岩崎書店	こっそりパパの仕事場についていったぼく。パパのおしごとはプロレスのわるものだった。みんなパパがやつつけられてよるこんでいるけど、それはぼくのパパなんだ。父と子の絆を描いた絵本。
34	ばんごはんえき	石崎 なおこ  作 田中 六大  絵	教育画劇	町でうわさの「ばんごはんえき」に行ってみることにした、ゆうくん一家。到着すると、あんがい普通の駅で…。今夜はどんな「ばんごはん」かな。“たべもの&のりもの”のユーモア絵本。
35	ぼっとなんころころどんぐり	いわさ ゆうこ  さく	童心社	秋になると、林の中にはどんぐりがいっぱい。クヌギのどんぐりが、どうやって生まれて育つのか、本物みたいな細かいイラストで教えてくれる絵本。どんぐりクッキーの作り方やどんぐりをつかった遊び方も分かります。

36	みずとはなんじゃ？	かこ さとし  作 鈴木 まもる  絵	小峰書店	顔を洗う水。飲んだりする水。お花にあげる水。生活に欠かせない水の性質をやさしく描いた科学絵本。自然を大切に思う気持ちや、科学に対する興味を持つきっかけとなるような絵本です。
37	もうぬげない	ヨシタケ シンスケ  作	ブロンズ新社	男の子が服がぬげなくなって奮闘するという日常であるあるをおもしろく描いた作品。うまくいかずにいろんな想像をふくらませる過程が、なんともかわいらしく笑えます。
38	ももんがのはいたつやさん もりのいたずらっこ	ふくざわ ゆみこ  著	文溪堂	このところ、森のあちこちでいたずらが起こり、森の配達屋さんであるモモンガさんが配達した手紙には、「いたずらだいせいこう！」の文字が。差出人のワオキツネザルに、森のみんなでいたずら返しを考えますが…。
39	よもぎだんご	さとう わきこ  作	福音館書店	春の野原でよもぎをつんで、においがおいしい、いろもおいしい、おいしさ100%のよもぎだんご。さあ、ばばあちゃんとつくろう！身の周りの自然を五感で楽しんでください。
<p>2026年2月 編集・発行：ひたちなか市立図書館</p> <p> <input type="checkbox"/> 中央図書館    ひたちなか市元町5-3    TEL 273-2247  <input type="checkbox"/> 那珂湊図書館    ひたちなか市鍛冶屋窪3566    TEL 263-5499  <input type="checkbox"/> 佐野図書館    ひたちなか市高場1632-1    TEL 270-3811 </p>				